

大会名称: 第11回東北大学バスケットボールリーグ

開催場所: 東北学院大学泉キャンパス体育館

試合区分: No. 3B2

コミッショナー: 佐々木桂二

期 日: 2010. 9. 3

主審: 齊藤晃次

開始時間: 17:30

副審: 山本光太郎

終了時間:

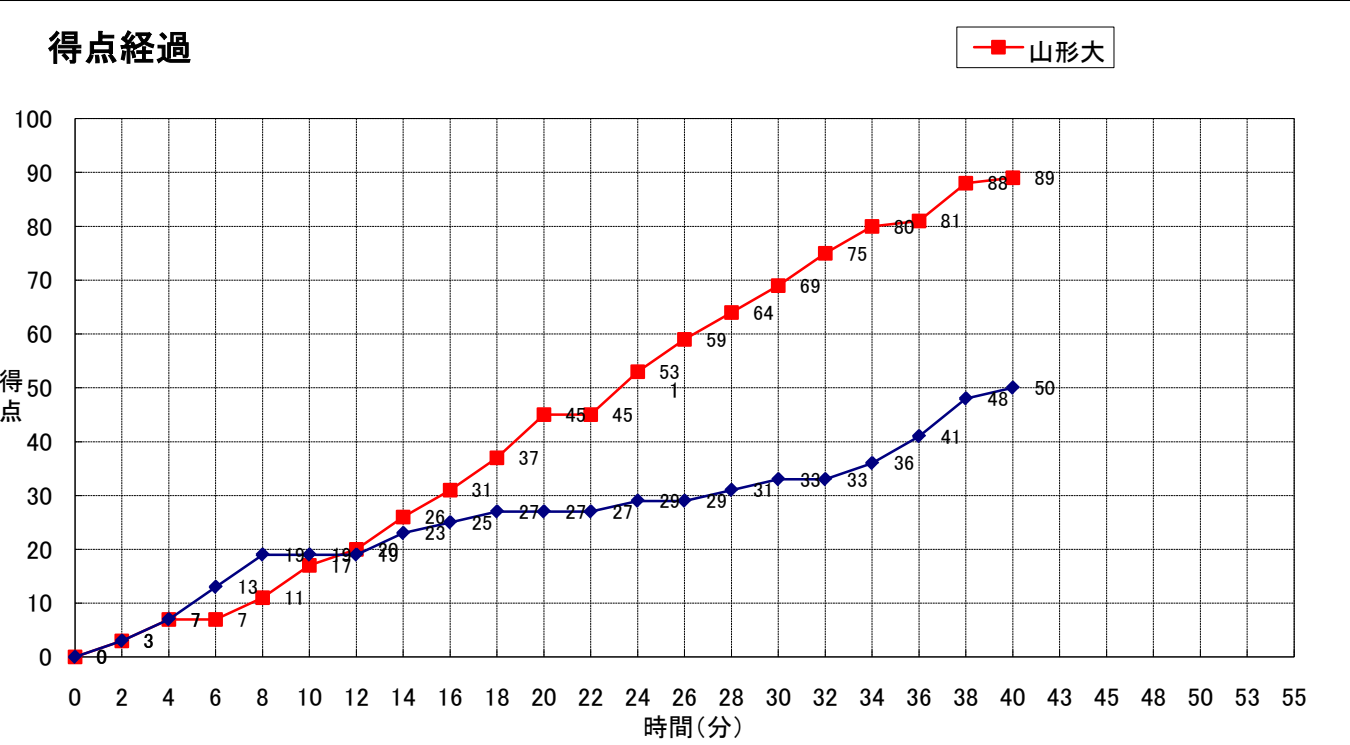
山形大 (1部 1位)	○ 89	● 50	岩手大 (1部 6位)
	17 -st1- 19 28 -2nd- 8 24 -3rd- 6 20 -4th- 17 -OT1- -OT2- -OT3-		

山形大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4		三浦 奈々	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5*		赤澤 里佳	6	0	1	2	4	2	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0
6*		糸井 貴子	3	1	4	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0
7		持原 織美	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
8		行場 志穂	8	0	0	4	9	0	0	2	2	3	5	0	1	0	0	0
9*		阿部 愛美	17	4	8	2	5	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
10*		佐久間 奈々	5	0	1	2	3	1	1	1	4	2	6	0	1	0	0	0
11		佐藤 優香	10	0	1	4	6	2	2	2	1	2	3	0	1	0	0	0
12		長嶋 真央	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
13		百瀬 悠里絵	9	0	1	3	5	3	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14*		佐藤 綾香	4	0	0	2	5	0	2	2	1	2	3	0	0	0	0	0
15		花沢 夏実	6	0	0	3	9	0	1	1	0	3	3	0	2	0	0	0
16		大山 未由	6	1	2	1	4	1	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0
17		小松 恵	12	0	0	5	11	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0
18		福田 有利子	3	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
TEAM		大神訓章								0	6	5	11					
合計			89	7	22	28	64	12	18	12	16	19	35	0	15	0	0	0:00
				31.8%		43.8%		66.7%										

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
4*		中野目 未来	15	1	4	6	11	0	1	2	2	5	7	0	2	0	0	0
5		進藤 結香	0	0	4	0	3	0	0	1	0	3	3	0	1	0	0	0
6*		勝山 菜月	13	0	0	3	6	7	8	5	1	0	1	0	1	0	0	0
7*		佐藤 祐美子	8	0	0	4	7	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0
8		中島 みなみ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9*		山下 美穂	9	1	4	3	6	0	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0
10		小原 千知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11		中村 恵	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12		村里 夏紀	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
13		佐藤 彩華	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14		関根 舞	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15*		藤原 優	3	1	4	0	2	0	0	4	0	3	3	0	2	0	0	0
16		山田 葵	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
TEAM		栗林徹								0	1	4	5					
合計			50	3	18	17	37	7	9	17	4	18	22	0	12	0	0	0:00
				16.7%		45.9%		77.8%										



ゲームレポート

まとめ

昨年の優勝チーム、山形大に岩手大は#4中野目を中心に攻撃する。しかし山形大はオールコートマンツーマンディフェンスからゲームの流れを掴み着実に点差をひろげていき、山形大が89対50で勝利した。

1P

両チームともにハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。山形大は素早いパス回しで攻めるがシュートを決めることができずにいた。その間、岩手大は#4中野目を中心に点を重ねた。インサイドのプレーを増やす山形大であったが、19対17で岩手大がリードして終える。

2P

山形大はディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替え、相手のミスを誘い徐々に試合の流れを掴んでいく。岩手大は2on2からオフェンスを展開するが、山形大のプレッシャーディフェンスに攻めきることができず、45対27で山形大が逆転し前半終了。

3P

2Pで流れを掴んだ山形大が引き続きオールコートマンツーマンでスタート。オフェンスも#9阿部の3Pで着実に得点していく。一方、岩手大は山形大のディフェンスに自分たちのリズムを取り戻すことができず、3Pは69対33で山形大がリードして終了した。

4P

岩手大は#中野目が果敢にインサイドを中心に攻める。ゲーム終盤になるとディフェンスもハーフコートマンツーマンで山形大に激しく当たっているものの、流れを掴んだ山形大はペースを落とすことなく落ち着いたゲーム展開で点差を広げ、89対50で山形大が勝利した。

PST: ポイント M: 成功 A: 試投 %: シュート率 FG: フィールドゴール 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール OR: オフェンスリバウンド DR: ディフェンスリバウンド TOT: トータルリバウンド TO: ターンオーバー AS: アシスト ST: スティール BS: ブロックショット MIN: 出場時間 S: スターター OT: 延長